

原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年9月5日 No.73

原水爆禁止2008年世界大会の成果を行動に

報告集会草の根で活発に

【埼玉】新国際署名 理事会で県目標 100 万筆に決める

埼玉県原水協は8月12日、常任理事会を開き、「2010年4月までに100万筆の署名」を目標にとりくむことを決定しました。新国際署名「核兵器のない世界を」は、とりくみ始めたところではどこでも歓迎されています。坂戸原水協では世界大会で配布された新しい署名用紙を増し刷りして8月9日、北坂戸駅前で訴え、短時間で38筆を集めています。県原水協では、加盟団体と地域原水協にただちに目標を決めてとりくみを開始しようと呼びかけています。

【岡山】水島・赤磐・林病院で報告集会

核兵器廃絶の新署名の取り組みの決意固める



水島原水協の世界大会報告会(08.9.3)

水島原水協は9月3日、2008年原水爆禁止世界大会の報告会を開きました。水島原水協は今年の世界大会に17人の代表を送りました。報告会には12人の代表を含め33人が参加しました。大会参加者は「初めて世界大会に参加し、世界中から平和を願う人がこんなにも多くいるのかと感動した」「分科会で被爆者の話を直接聞き心に残った」「被爆体験を聞くことのできる最後の世代として『継承と発信』の意味が理解できた」「平和のために何かしたい」など、感動的な発言が相次ぎました。水島原水協は2010年のNPT再検討会議にむけ新たな国際署名にとりくむ決意をかためました。

1品持ち寄りの報告会

赤磐原水協は8月24日、瀬戸町の「みえさんの家」(サービスセンター)で世界大会報告集会を行いました。集会には大会に参加した4人を含め12人が参加。1品持ち寄りの昼食会をかねての楽しい報告会でした。海外の代表はことしは政府代表が多かったこと、2010年のNPT再検討会議に向け、新しい核兵器廃絶署名に取り組むこと、大会参加者の半分は若者で希望が持てたこと、動く分科会で潜水艦の状況を視察し、膨大な軍事費が使われている様子などが報告されました。他の参加者もそれぞれ平和の思いを語り合いました。

スライドを使って報告

林病院でも世界大会報告集会が行われました。林病院では今年広島大会に7人、長崎大会に4人の代表を派遣しました。8月22日の報告集会には15人が参加。「碑めぐり」分科会に参加した代表はスライドを使って報告しました。

新署名に弾みつける9月6・9行動を!

世界大会記録集を積極的に普及・活用しましょう 1冊184頁1500円